

◎特集 福祉のまち推進センター

地域のみんなで 支え合うまちづくり

少子・高齢化が進む今日、子育てや親の介護、自身の加齢などにより、日常生活で不安を抱える人が増えています。こうした人たちが孤立せず安心して暮らせるよう、地域のみんなでお互いを見守り支え合うネットワークづくりを目指し活動するのが「福祉のまち推進センター」です。
今月号では、福祉のまち推進センターとその活動についてご紹介します。

地区福祉のまち推進センター

私たちが日常生活を送っていく上で、「子育てや介護に不安があるが相談する人がいない」「急病などでいざという時に手助けしてくれる人がいない」など、不安な状況に置かれることがあります。そんな時、地域で互いに支え合う仕組みがあれば、安心して生活できるようになります。

区内八カ所、それぞれの地区に設置されている「地区福祉のまち推進センター」は、幅広い市民の参加により地域ぐるみで支え合う環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることを目指して活動する組織。地域住民の日常的な支え合いとボランティアによる福祉サービスの推進を基本目標に、平成七年度から市と社会福祉協議会が協力して取り組んでいる「福祉のまち推進事業」を進めるために設置されました。今年で十年目を迎えましたが、少子・高齢化の一層の進展など、新たな地域課題の解決に向け、ますますその重要性が増しています。

また、現在各地区で設立が進む、さまざまな地域団体によるネットワーク組織の取り組みの中でも、地区福祉のまち推進センターの活動は重要な役割を担っています。

地区福祉のまち推進センターと地域との関係図

